

	ウチエのポータブルトイレ
	たため～る
	ウチエのポータブルトイレ
	たため～る A

取扱説明書

たため～る

- 品番：8050（肘はね上げタイプ）
8051（肘固定タイプ）
8052（肘はね上げ袋タイプ）
8053（肘固定袋タイプ）

たため～るA

- 品番：8080（肘はね上げタイプ）
8081（肘固定タイプ）
8082（肘はね上げ袋タイプ）
8083（肘固定袋タイプ）

**最大使用者体重
100kg 以下**

このたびは、弊社の『たため～る』『たため～るA』をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

・ご使用になる前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

・本書は必ず保管しておいてください。

・本品を他のお客様へお譲りになるときは、必ず本書も合わせてお渡しください。

・お買い上げのポータブルトイレは改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

各部名称

たため～る



肘はね上げ

肘固定袋

外袋

たため～るA

肘はね上げ袋



肘固定

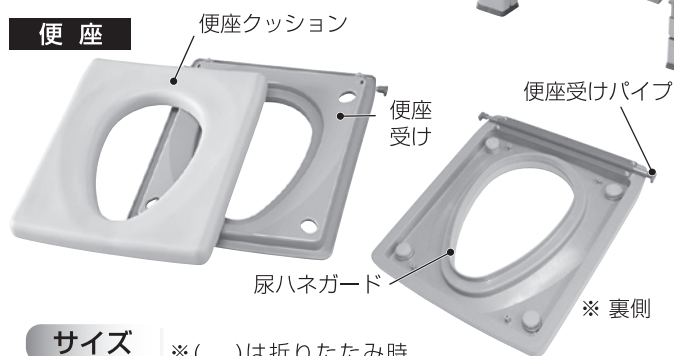
二重バケツ

肘はね上げ・肘固定

二重バケツ

バケツ

肘はね上げ袋・肘固定袋



※ 裏側



※ 共通



サイズ

※ () は折りたたみ時

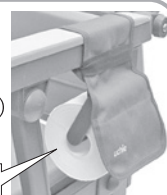
単位: cm

	たため～る	たため～るA
幅	55.5 (55.5)	55.5 (55.5)
奥行	59.5 (33)	59.5 (33)
高さ	79.5～88.5(102.5～111.5)	79.5～88.5(102.5～111.5)
座幅(肘～肘)	46.5	46.5
便座奥行	43.5	43.5
肘から便座	24	24
便座高	36～45	36～45
背シート高さ	44.5/47/49.5	44.5/47/49.5

付属品

- ・取扱説明書(本書)
- ・布製ペーパーホルダー15(芯、カバー)
- ・消臭パッド ※たため～るAのみ

※トイレトペーパーは付属されていません。

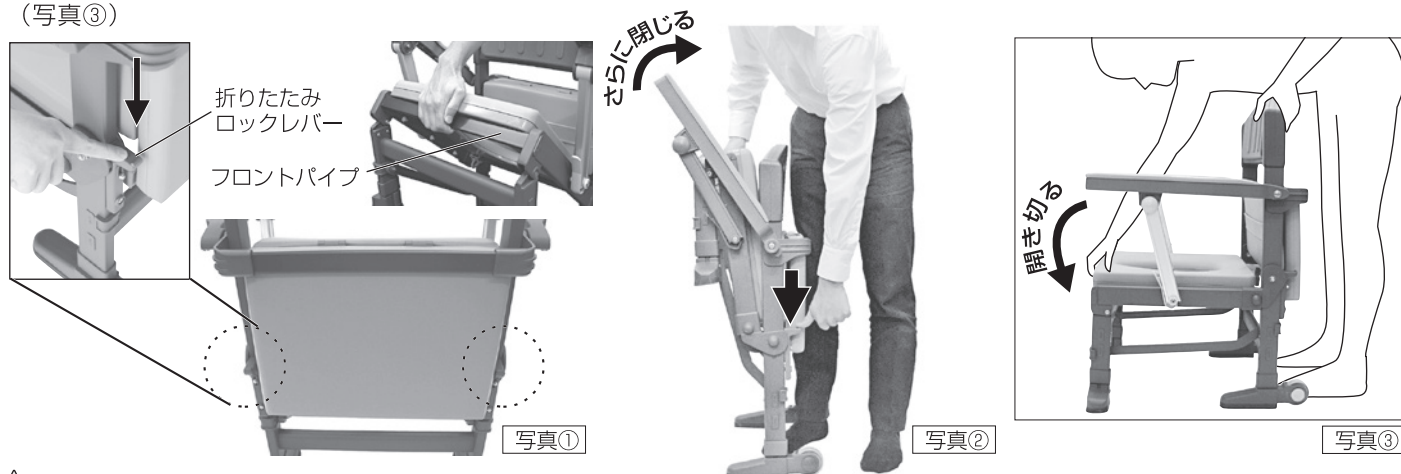


仕様

		たため～る	たため～るA	
材質	本体		アルミニウム合金、アルミダイカスト成形品、ステンレス、合成樹脂成形品	
	背もたれ		ポリエチレン	
	肘掛け		PA樹脂	
	背もたれクッション、肘掛けクッション		EVA樹脂	
	お座りパッド		ウレタンフォー ム、合成皮革	EVA樹脂、ポリプロピレン、PVC
	便 座	便座クッション	EVA樹脂	
		便座受け	ABS樹脂	
	滑り止めゴム		合成ゴム	
	二重バケツ、バケツ		ポリプロピレン	
袋タイプ	汚水トレイ	ABS樹脂		
	外袋	表：ナイロン、裏： PVCコー ティング	紐： ポリエステル	
重量		約12kg	約13kg（ 袋タイプ：12kg ）	
バケツ容量		約10リットル		
車輪		直径7cm		

開き方

1. フロントパイプの中央を持って本体を支えながら左右のロックレバーを下に押し、ロックを解除してください。(写真①)
ロックレバーが押しにくい場合は、本体をさらに閉じながらレバーを押してください。(写真②)
2. 背もたれを持って本体を支えながらフロントパイプの中央をゆっくり押し下げ、ロックがかかるまで便座面を開き切ってください。(写真③)



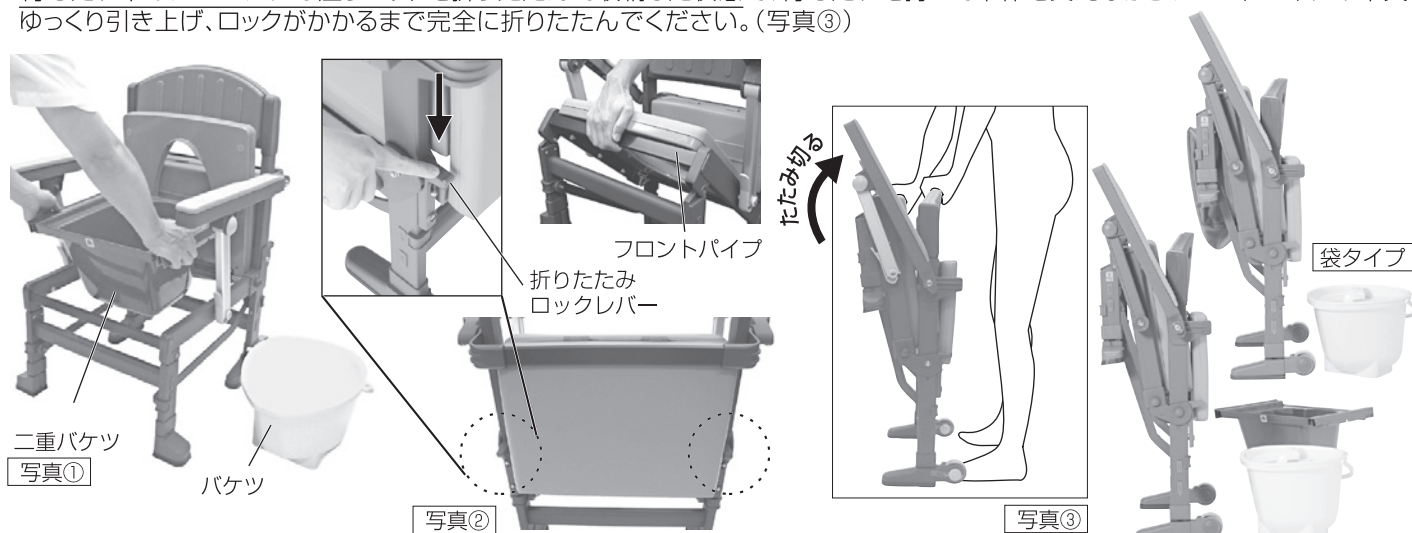
⚠ 注意

- ※ 背もたれとフロントパイプの中央以外を持たないでください。手や指などを挟んでけがをするおそれがあります。
- ※ 開く時以外は折りたたみロックレバーを押さないでください。不意に開き、けがをするおそれがあります。
- ※ 開いた際はロックがされた状態で使用してください。ロックを解除したまま使用すると不意に折りたたまれ、破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ 折りたたんだ状態からロックレバーを押してロックを解除した場合は、必ず開き切ってください。開く途中で折りたたむと、折りたたんだ際にロックがかかりません。

折りたたみの仕方

・使用しない時は折りたたむことができます。たたんで自立し、コンパクトで収納場所をとりません。

1. お座りパッドと便座を上げ、バケツと二重バケツ(袋タイプはバケツのみ)を取り外してください。(写真①)
2. 左右のロックレバーを下に押し、ロックを解除してください。(写真②)
3. 背もたれ下のスペースにお座りパッドを折りたたんで収納した状態で、背もたれを持って本体を支えながらフロントパイプの中央をゆっくり引き上げ、ロックがかかるまで完全に折りたたんでください。(写真③)



⚠ 注意

- ※ 背もたれとフロントパイプの中央以外を持たないでください。手や指などを挟んでけがをするおそれがあります。
- ※ 折りたたみ時以外は折りたたみロックレバーを押さないでください。不意に折りたたまれ、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ 折りたたんだ際はロックがされていることを確認してください。不意に開き、けがをするおそれがあります。
- ※ 開いた状態からロックレバーを押してロックを解除した場合は、必ず折りたたんでください。折りたたみの途中で開くと、開いた際にロックがかかりません。

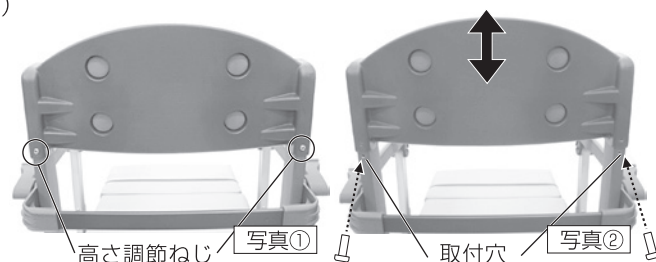
背シートの高さ調節の仕方

・背シートの高さを、便座から44.5、47、49.5cm(2.5cm刻み、3段階)の高さに簡単に調節ができます。(出荷時44.5cm)

- 1.背シート裏のねじを、工具を使用し、左右取り外してください。(写真①)
- 2.背シートを使用する高さに調節し、取付穴を合わせてください。
- 3.取付穴にねじを通し、ねじをしっかりと締めてください。(写真②)

⚠注意

- ※背シートは同じ高さになるように調節をしてください。
- ※調節完了後、背シートが左右のねじでしっかり固定されているか確認してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ※工具は電動ではなく、手動のものを使用してください。



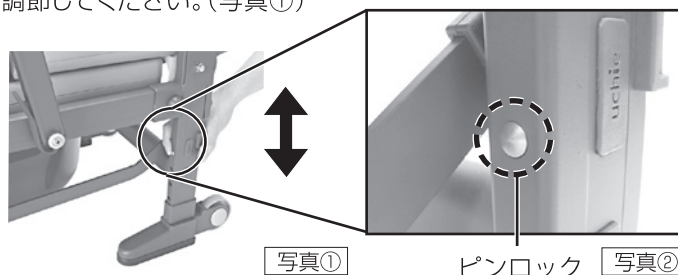
座面高さ調節の仕方

・便座の高さを、ピンロックで36、39、42、45cm(3cm 刻み、4段階)に、簡単に調節ができます。(出荷時36cm)

- 1.脚部のピンロックを押しながら脚部をスライドさせ利用する高さに調節してください。(写真①)
- ピンロックが脚部の穴から出ていれば、調節完了です。(写真②)

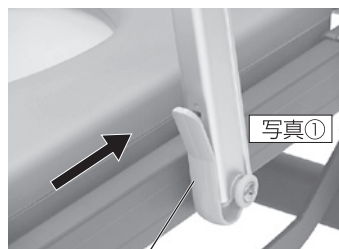
⚠注意

- ※4本すべて同じ高さになるように調節をしてください。
- ※調節完了後、ピンロックが脚部の穴から確実に出ていることを確認してください。転倒、けがをするおそれがあります。
- ※ピンロックを強く押しすぎないでください。ピンロックが戻らなくなるおそれがあります。
- ※高さ調節をする際は、ピンロックで指を挟まないように注意してください。



肘掛けの取り扱い方 (肘はね上げタイプ)

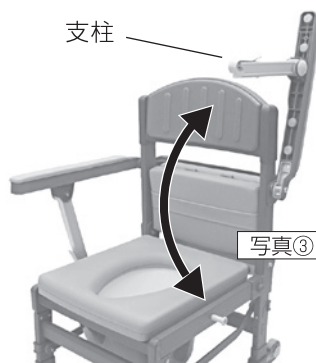
- 1.肘掛けロックバーの上部を押すとロックが解除され、肘掛けをはね上げることができます。(写真①～写真③)
さらに、肘掛けの支柱は折りたたむ事ができます。(写真④)
- 2.肘掛けを降ろすと肘掛け受けにはまり、ロックされます。(写真①)



肘掛けロックバー



肘掛け受け



支柱



支柱

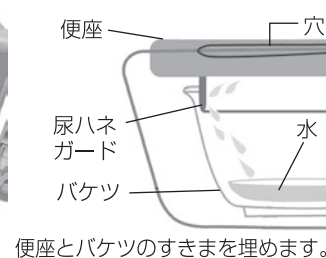
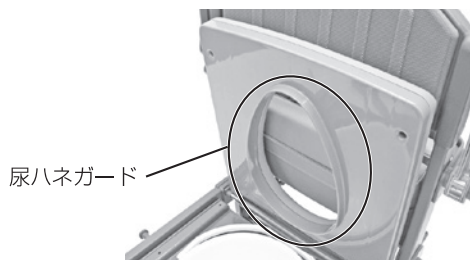
⚠注意

- ※はね上げた肘掛けは、支柱を写真③のように必ず戻してから、肘掛け受けにロックをしてください。(写真①)
- ※両側の肘掛けをはね上げた後は必ず片側を肘掛け受けにロックをし、使用してください。
- ※肘掛けロックバーが肘掛け受けに確実に入ったことを確認してください。転倒するおそれがあります。

尿ハネガード

便座には尿ハネガードが付いています。
便座とバケツの間への尿飛び、尿ハネを防ぎます。

- ※使用状況によっては、尿飛び、尿ハネが起こる場合があります。

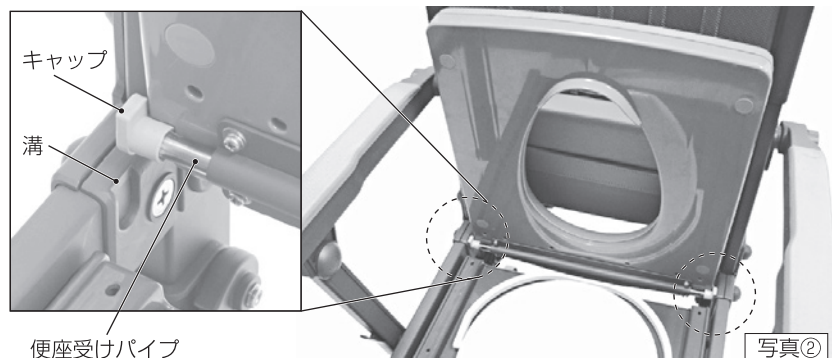


便座とバケツのすきまを埋めます。

便座の取り扱い

● 便座の取り付け、取り外し

1. お座りパッドを開けて便座を上げ、そのまま便座を持ち上げると取り外すことができます。(写真①)
2. 便座を取り付ける際は、お座りパッドを開けて本体の溝と便座受けパイプキャップの向きを合わせ、便座を差し込んで取り付けてください。(写真②)



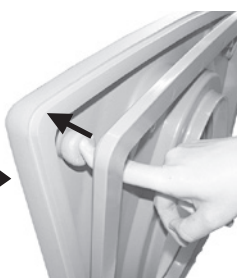
便座クッションの取り外し、取り付け方

● 取り外し方

便座の裏側から便座クッションを押して取り外してください。(写真①②)



写真①



写真②

● 取り付け方

便座クッション裏面の凸部を便座受けの穴に合わせ、上からしっかり押して取り付けてください。(写真③)



写真③

⚠ 注意

- ※ 頻繁に便座クッションを取り外さないでください。何度も外されると裏面の凸部が破損するおそれがあります。
- ※ 便座クッションを取り外す際は、必ず裏側から便座クッションを押して取り外してください。
- ※ 便座クッションを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。便座クッションが裂ける場合がございます。
- ※ 便座クッションがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。

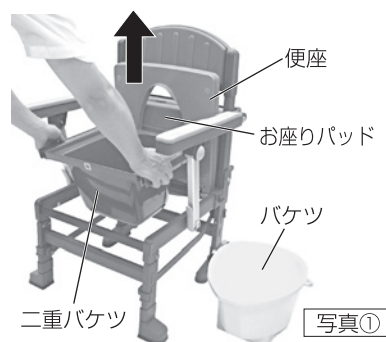
二重バケツの取り扱い方（肘はね上げ、固定タイプ）

● 取り外し方

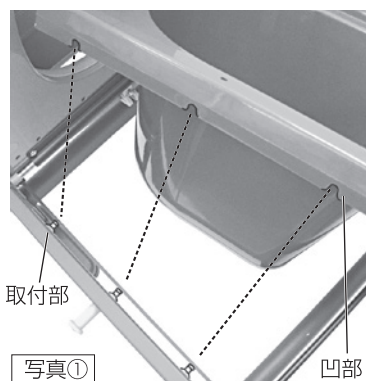
1. お座りパッドと便座を上げてバケツを取り出し、二重バケツを真上に取り外してください。(写真①)

● 取り付け方

1. お座りパッドと便座を上げます。バケツがあれば取り出してください。
2. 二重バケツ側面の凹部をねじに合わせ(②①)、取り付けてください。(写真②)
3. 二重バケツの突起の間にバケツのリブが入るように、バケツを差し込んでください。(写真③)



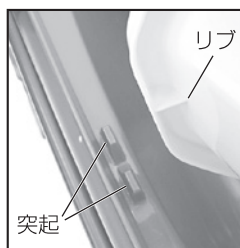
写真①



写真②



写真③



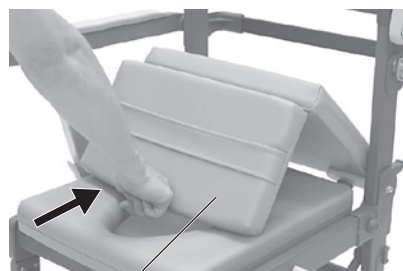
写真⑤

⚠ 注意

- ※ 二重バケツには前後があります。「前シール」が貼られた面を前に取り付けてください。
- ※ 二重バケツに、バケツがしっかりと納まっていることを確認してください。
- ※ 二重バケツにバケツを取り付けた状態で使用してください。二重バケツのみで使用しないでください。
- ※ 二重バケツを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがの原因となるおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

お座りパッドの開け方、閉め方

1. お座りパッド先端を後方に押します。(写真①)
2. 押し続けるとパッドが2つに折りたたみ、背シートの下に収納されます。(写真②) お座りパッド内側の汚れが背中に当たりません。
※お座りパッドを閉める時は、ひもを持ち、前方に引き戻してください。(写真③)

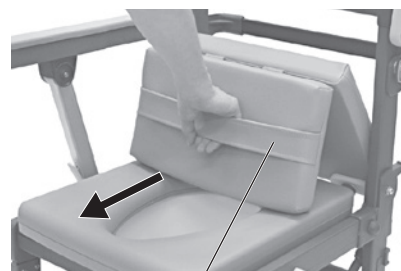


お座りパッド

写真①



写真②



ひも

写真③

- 注意** ※戻す時はお座りパッドのひもを前方に引き戻してください。(写真③)
※お座りパッドに座る際は、バケツにふたをしてからお座りください。
※お座りパッドが折りたたまれた状態から、さらに後ろに押さないでください。破損するおそれがあります。

お座りパッドの取り外し方、取り付け方

1. 後方から左右のノブナットをゆるめて外し、座金(小)、ばね座金、座金(大)を取り外します。(写真①)
2. 片側のL型プラスチックを手で押さえ、お座りパッドを上げてL型プラスチックから外します。(写真②)
反対側も同じようにして外してください。

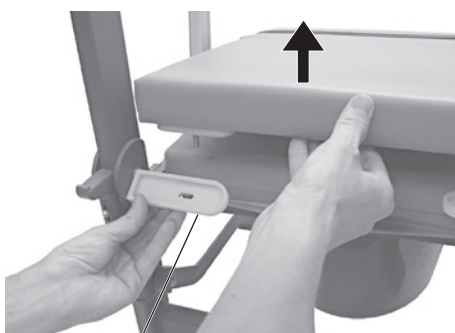
・取り付け方は、起こしたL型プラスチックにお座りパッドのねじを通し(2ヶ所)、座金(大)、ばね座金、座金(小)を入れ、ノブナットで固定してください。(写真③)



お座りパッド

ノブナット

写真①



L型プラスチック

写真②



座金(大)
ばね座金
座金(小)

写真③

- 注意** ※お座りパッドを取り付ける際は、ばね座金を入れてノブナットをしっかり締めてください。

消臭パッドの取り扱い方 たため～るA

- ・お座りパッド内に消臭パッドを装着できます。(標準装備 ※ご購入時ははじめから装着されています。)
- ・消臭パッドは洗えて繰り返し使えます。洗濯後も効果は変わりません。

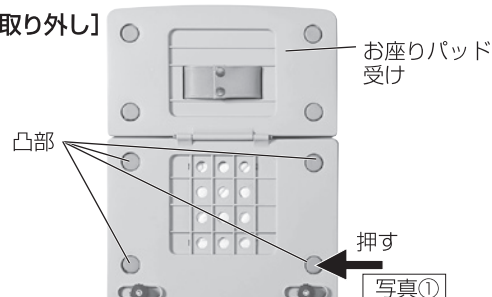
●取り外し方

- お座りパッドを本体から取り外してください。(※p.5「お座りパッドの取り外し方、取り付け方」参照)
お座りパッドの裏面を上にして置き、消臭パッド収納部分の凸部を4ヶ所押して取り外してください。(写真①)
お座りパッドから消臭パッドを取り外してください。(写真②)

●取り付け方

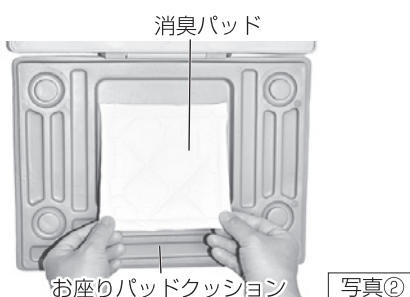
- お座りパッドクッションの裏面を上にして置き、収納部分に消臭パッドを置いてください。
お座りパッド受けの穴をお座りパッドクッション裏面の凸部に合わせ、下からしっかり押して取り付けてください。(写真③)

[取り外し]



押す

写真①



消臭パッド

お座りパッドクッション

写真②

[取り付け]



下から押す

写真③

- ⚠ 注意** ※頻繁にお座りパッドを分解しないでください。何度も取り外されるとお座りパッドクッションの凸部が破損するおそれがあります。
- ※お座りパッドを分解する際は、必ずお座りパッド裏側の凸部を押して取り外してください。
- ※お座りパッドクッションを横から引っ張ったり、力を入れて抜かないでください。クッションが裂ける場合がございます。
- ※取り付けの際は、お座りパッド受けの穴とクッションの凸部を合わせてから押し込んでください。合わせずに押し込むと、凸部が変形するおそれがあります。
- ※お座りパッドクッションがしっかり固定されているか確認し、使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。



■消臭パッド (品番:7095)
 サイズ／16×16cm 材質／側生地:綿100%、
 中綿:ポリエステル100%
 交換用に消臭パッドのみご購入いただけます。
 洗濯機の使用可能です。

汚水トレイの取り扱い方 (袋タイプ)

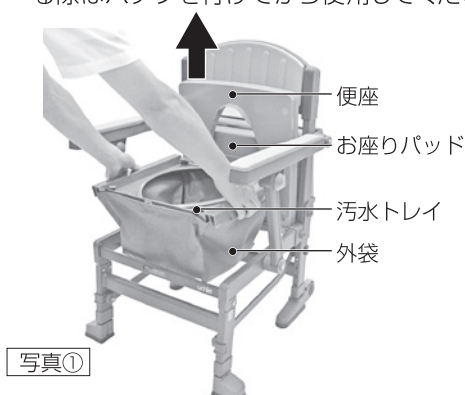
漏れによる汚れを防止します。

● 取り外し

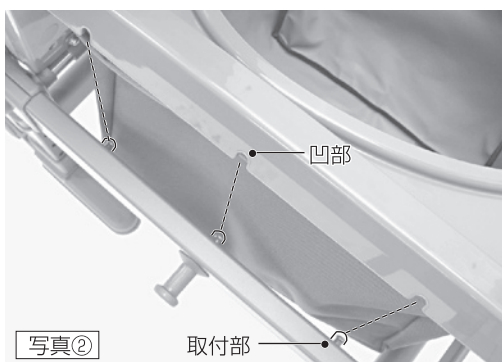
1. お座りパッドと便座を上げてバケツを取り出し、汚水トレイを真上に取り外してください。(写真①)

● 取り付け

1. お座りパッドと便座を上げます。バケツがあれば取り出してください。
2. 汚水トレイの向きを確認し(『前シール』を手前)、汚水トレイ側面の凹部をねじに合わせて取り付けてください。(写真②③) 使用する際はバケツを付けてから使用してください。



写真①



写真②



写真③

- ⚠ 注意** ※汚水トレイには前後があります。‘前シール’が貼られた面を前に取り付けてください。
- ※汚水トレイにバケツがしっかり納まっていることを確認してください。
- ※汚水トレイを直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損、けがの原因となるおそれがあります。また、退色するおそれがあります。

外袋の取り扱い方

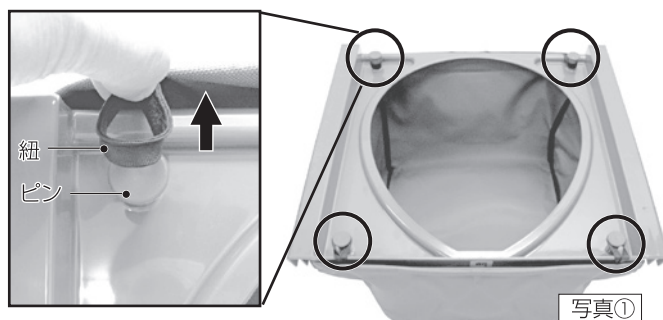
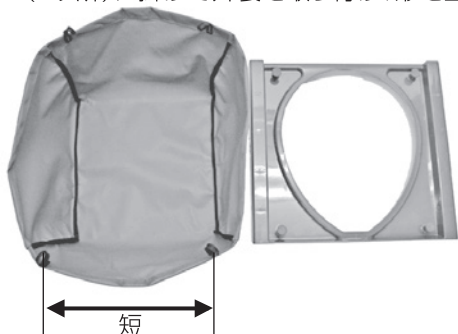
汚水トレイに取り付け、バケツからの漏れによる汚れを防止します。

● 取り外し

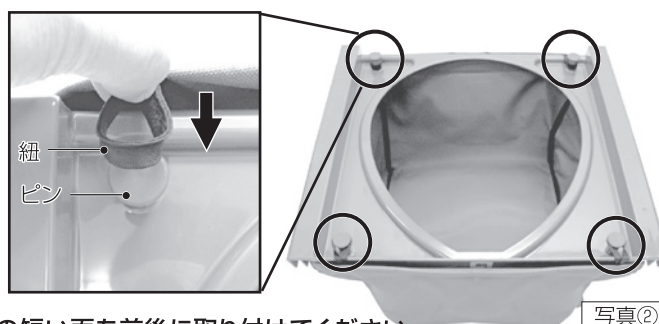
1. 汚水トレイを本体から取り外し、外袋の紐を汚水トレイのピンから外してください。(4ヶ所、写真①)

● 取り付け

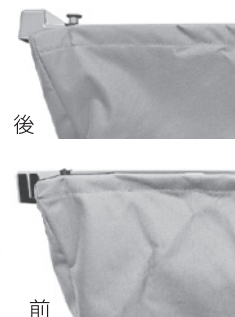
1. 汚水トレイを本体から取り外します。
2. 外袋の向きを確認し(紐間の短い面が前後)、紐を汚水トレイのピン(4ヶ所)に掛けて外袋を取り付け、形を整えてください。(写真②)



写真①



写真②



形を整える

- ⚠ 注意** ※外袋には向きがあります。紐間の短い面を前後に取り付けてください。
- ※汚水トレイのピンに外袋の紐がしっかりと掛かっていることを確認してください。
- ※汚水トレイに外袋を取り付け、バケツを設置した状態で使用してください。外袋のみで使用しないでください。
- ※外袋を直射日光に当てたり、熱湯をかけないでください。劣化し、破損するおそれがあります。また、退色するおそれがあります。
- ※洗濯機で洗わないでください。

車輪について

- ・本体をななめに傾けると車輪が接地し、動かすことができます。掃除の際など、本体の位置を変えたい時にご使用ください。
- ・平面な所では脚部のゴムで固定しているので、安心してご使用できます。

⚠ 注意

- ※肘掛けを持って移動する場合は、肘掛けのロックがしっかりかかっている事を確認してください。
- ※滑りやすいフローリング等では注意して移動してください。
- ※凹凸のある場所や無理な段差ではキャスターを使用しないでください。破損するおそれがあります。
- ※人やものをのせたまま移動させないでください。故障やけがをするおそれがあります。
- ※バケツに水や汚物が入ったまま移動させないでください。こぼれて床や服などを汚すおそれがあります。



保管

- ・折りたたむと奥行が約半分にになります。
- ・自立するのでコンパクトに保管できます。
- ・バケツと2重バケツは重ねて保管できます。



お手入れの方法

本商品はお座りパッド（たため～る）、お座りパッドベルト（たため～るA）を取り外すと、丸洗いです。

薄めた中性洗剤に浸したスポンジややわらかい布で汚れを拭き取り、きれいな水で洗剤を洗い流してから、日陰の通気性の良い場所で乾かすかやわらかい布で乾拭きしてください。

● 便座のお手入れ

便座は、便座クッションと便座受けに分けて洗う事ができます。

● 背もたれクッションのお手入れ

背もたれクッションは背もたれから取り外して洗う事ができます。

● お座りパッドのお手入れ

- ・たため～る
お座りパッドは洗えません。水拭きか、汚れのひどい場合は薄めた中性洗剤に浸した布を絞って拭き、その後やわらかい布で乾拭きしてください。
- ・たため～るA
お座りパッドベルトを取り外してから、パッドクッションとパッド受けに分けて洗う事ができます。

● 外袋のお手入れ

下記の表示に従ってください。



※外袋の紐をつかんで干さないでください。紐が破損するおそれがあります。

⚠ 注意

- ※丸洗いは、必ず乾かしてください。濡れたまま放置されますと、塗装はがれ、カビの原因となります。
- ※塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※肘パッドは接着されています。交換する時以外は取り外さないでください。
- ※クッション部分に60℃以上の熱湯をかけないでください。EVA、樹脂部品等が劣化し、破損、けがの原因となります。
- ※直射日光に当てないでください。樹脂部品が劣化し、破損、けがの原因となります。また、退色するおそれがあります。



安全上の注意事項

使用上のご注意

安全のため必ずお守りください

- 本製品を本来の目的以外で使用されたり、お客様ご自身での改造や仕様変更が原因で起きた破損・事故に関しましては、保証対象外となりますのでお止めください。
- 絶対に分解しないでください。けがをするおそれがあります。
- 本製品の耐荷重は100 kgです。100 kgを超える方は使用しないでください。
- 故障の原因となりますので、次の所に放置しないでください。
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・冷暖房器の冷気や熱気が直接当たる場所
 - ・ストーブ等の火気が近くにある場所
 - ・高温多湿、低温な場所
 - ・風通しの悪い場所
- Pタイル、フローリングなど、滑りやすい床面で使用する場合は、乗り降りの際に特に注意してください。
- 平坦な床に接地してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 本製品を落としたり、ぶつけるなどの衝撃を加えないでください。破損、故障するおそれがあります。
- ご使用前に製品にガタつきがないか確認してから使用してください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- ベッドサイドなどで使用する際、ベッドと本体の右、又は左側を、隙間を開けずに隣接させてください。
- お座りパッドや便座に腰掛ける際、下肢の筋力低下で倒れるように座るなど使用者の状況によっては本体が倒れ、けがをするおそれがありますので、介助者が付き添うなど注意してください。
- 座面高さ調節をして足が地面につかない状態は、使用者が転倒するおそれがありますのでお止めください。
- 本体を踏み台の代わりに使用しないでください。転落、転倒し、けがをするおそれがあります。また、特に便座穴にあたる中央部に荷重をかけると、お座りパッドが破損するおそれがあります。
- 肘掛けに腰かけたり、もたれたりしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けに重い物を載せないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 肘掛けや背シートを斜めや他方向から押さないでください。本体が転倒してけがをするおそれがあります。
- 立ち上がりやつたい歩きなどのために背もたれを使用しないでください。本体が転倒してけがをするおそれがあります。
- 座る時や立ち上がる際は、片側のひじ掛けに全体重をかけないでください。転倒やけがをするおそれがあります。
- お座りパッドや便座の前縁部に腰掛けしないでください。転倒してけがをするおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で、肘掛けに荷重を掛けしないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた後は、必ずカチッと音がするまで元の位置に戻してロックしてください。
- 肘掛けを両側はね上げた状態や、ロックしていない状態で使用しないでください。破損、転倒、けがをするおそれがあります。
- キャスターを使用する際は、無理な段差では使用しないでください。破損するおそれがあります。
- 背シートを後方に押さないでください。車輪で本体が動き、転倒してけがをするおそれがあります。
- 人が座っている状態やものを載せている状態での移動、バケツ内に水や汚物を入れたままでの移動はしないでください。破損、転倒、けがをするおそれや、水や汚物がこぼれるおそれがあります。
- ねじがゆるんだ状態で使用しないでください。本体が壊れ、けがをするおそれがあります。
- 使用中にゆるみやガタつきが発生した場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 塩素系・酸性・アルカリ性洗剤、シンナー・ベンジン等は絶対に使用しないでください。また、タワシやみがき粉、研磨剤等は使用しないでください。本体が劣化し、破損、けがをするおそれがあります。
- スプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。本体が劣化し、破損、けがをするおそれがあります。
- 定期点検を実施してください。ゆるみやガタつき、破損などを発見した場合は直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

商品廃棄方法

各市区町村条例で定められた分別に従って廃棄してください。

Handwriting practice lines consisting of 25 horizontal dashed lines.

ウチ工株式会社 サービス係

本社／大阪営業所 〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2-8-29 TEL(06)6482-0230 FAX(06)6401-6372

関 東 営 業 所 〒271-0087 千葉県松戸市三矢小台4-12-3 TEL(047)362-0311 FAX(047)362-0312

福 岡 営 業 所 〒819-1107 福岡県糸島市波多江駅北4-6-5 TEL(092)323-4331 FAX(092)323-4332

兵 庫 工 場 〒673-1334 兵庫県加東市吉井732-1

検査印

●常に皆様のご要望に応え、改善して参りますので、デザイン・色柄・仕様は予告無く変更する場合もございます。予めご了承ください。

24.09.II